

プロジェクト名	シンガポール共和国／フォトマスクラインの生産自動化実証事業		
企業名	テクセンドフォトマスク株式会社	企業規模	中小企業・ 中小企業以外
類型	類型1・類型2・類型3	分野	GX分野・ DX分野 ・経済安全保障分野
事業費総額/補助対象経費総額/補助金申請額	92.7億円 / 80億円 / 40億円		

事業概要

【想定事業スキーム】

テクセンドフォトマスク株式会社
(補助申請者)

↓
100%出資

Tekscend Photomask
Singapore Pte. Ltd.
(現地子会社)

【概要】

- ・シンガポールに先端28nmフォトマスクの自動化ラインを構築し、増産対応とコストダウンを実現する

【主な技術及び実証性】

- ・テクセンドフォトマスクの所有するArFリソグラフィ向け先端28nmフォトマスク・プロセスの技術移転と、外販マスクメーカー初の自動化ライン構築の実証
- ・EAP(Equipment Automation Process), FDC(Fault Defection Clarification), EDA(Engineering Data Analysis)等を導入することで、一人当たり生産性1.5倍、歩留まり15%改善のフォトマスク生産ラインの構築を実現する。

【スケジュール】

- ・2026年4月～ 設備導入
- ・2027年初 順次生産開始
- ・2029年3月 自動化実証評価完了
- ・2031年4月 日本に新自動化ラインを敷設

【シンガポール新工場完成予想図】

**日本裨益**

【本事業が我が国のイノベーション創出に裨益するポイント】

- ・外販フォトマスク業界初の高生産性自動化ライン技術の獲得、現地高度人材を50人呼び込み

【結果生み出される国内雇用・投資効果等】

- ・実証評価した自動化技術を用いた生産ラインを日本（2拠点）に敷設する
- ・シンガポールへの先端マスクラインの構築による現地半導体産業の拡大・日本製半導体装置のシンガポールでの販売促進